

『HIVについて正しく知る』

朗読者 尾木直樹

5 今日には HIV とエイズへの偏見と差別の問題について考えてみましょう。

皆さんはエイズと聞いて、まず何を思い浮かべますか？

10 死につながるコワイ病気、感染する、アブナイといった、あやふやな情報が広まっているのが現状ではないかしら。感染についても、握手やくしゃみ、近くでおしゃべりしても感染するんじゃないかとか、一緒にお風呂やプールに入っても大丈夫なの？とかね。

15 HIV は感染力が弱く、せきやくしゃみ、握手など、日常生活の中では、性的接触以外で感染することはありません。それでも「唾液や蚊で感染する」といった誤解が今も残っているの。

そうした誤った情報から、仕事を辞めさせられたり、就職できなかつたり、病院で診療を断られたりといった人権侵害が私たちの身近なところで起きています。

20 そうした偏見や差別をなくすためには、どうしたらいいのかしら。

まず、HIV とエイズについて、あなたはどれくらい知っています

すか？

25 HIVとは「ヒト免疫不全ウイルス」という体の免疫機能を破壊するウイルスのことよ。感染するのは、性行為によるもの、血液感染、母子感染の三つに限られています。

30 このウイルスに感染したからといって、すぐにエイズを発症するわけではないの。キャリアとよばれる HIV 感染者に対しては、投薬などの治療によって、エイズの発症をおさえ、今までと変わらない生活を送ることができるようになりました。

35 エイズを発症しても適切な治療をすれば、進行を遅らせることはできるのよ。エイズは以前のような死に至る病というイメージではなくなりつつあるの。

日本でも HIV に感染する人はなかなか減らないのが現状です。社会全体で病気についての理解を深め、みんなが自分自身の問題としてとらえることが必要ね。

40 そのためには、私たち一人一人が HIV やエイズについて正しい知識を持ち、偏見や差別をなくし、患者さんや家族に寄り添い、人権を尊重する心を持つことが何より大切だと思います。